

第十六回

# 東京

# 大新能

宝生流

平成二十六年 八月二十八日(木)

十六時半開場 十八時開演

会場 東京都庁舎・都民広場

新宿区西新宿二丁目八番号 ※少雨決行

主催：NPO法人世界芸術文化振興協会

後援 文化庁 外務省 東京都

カンボジア王国政府 駐日カンボジア王国大使館

駐日エジプトアラブ共和国大使館 文化・教育・科学局

産経新聞社 毎日新聞社 など

無料入場

〈当日プログラム〉

十八時

入門能楽鑑賞講座

半田 晴久 (PhD)

(中国国立浙江工商大学日本文化研究所教授・

東南アジアテレビ局解説委員長)

十九時頃

能高砂

渡邊 苟之助

主な出演者

〈宝生流宗家〉

宝生 和英

小倉 敏克

能是界

狂言 仏師

すっぽ 善竹 十郎

辰巳満次郎

福王 和幸

入門能楽鑑賞講座

解説者・主催団体代表・宝生流能楽師  
半田 晴久 (PhD)

別名「渡阿見」その他。宝生流能楽師。社団法人能楽協会会員。世界最大の能同好会「FAC」宝生東州会会主。「東京大新能」主催者代表、NPO法人世界芸術文化振興協会会長。能楽を、同志社大学能楽部宝生会にて、柏原兵衛及辰巳孝に師事。能管は森田流と一噌流。小鼓は幸流を習う。能楽の国内及び海外普及に寄与し、米國演能旅行、中国演能旅行、イギリス演能旅行、また、エジプトのスフィンクス新能、カンボジアのアンコールワット新能等を主催し、自らも演能す。能「石橋」「乱」「翁」披露。また、第一回～第九回「東京大新能」では、先代の宝生流宗家とともに、毎年シテを演ず。今までに、四十三回シテを演ず。第十回以降は、毎年「入門能楽鑑賞講座」を務め、好評を博す。中国の清華大と浙江大でPhD取得。中国国立浙江工商大学日本文化研究所教授。東南アジアテレビ局解説委員長、東南アジア英字新聞解説委員長、有明教育芸術短期大学教授(音楽担当)、ジュリアード音楽院名譽人文學博士、オックスフォード大学名譽フェローなど。国立中国歌劇舞劇院一級音楽家、北京市立北京京劇院二級京劇俳優。写真の「高砂」は、半田晴久がシテを演じた時のものである。